

第5期ふじのくに文化振興基本計画策定に向けた論点

第4期計画では、東京2020オリンピック・パラリンピック文化プログラムを県内全域で展開するとともに、そのレガシーとして「アーツカウンシルしずおか」を設立した。また、世界的評価の高いSPACを中核に、県民が演劇を通じて豊かな文化を享受できる“演劇の都”構想の策定を進めている。（別添資料2）

第4期では、基本目標に掲げる「文化活動を行う環境や仕組み」の整備に一定の道筋が立ったことから、令和4年度を始期とする第5期計画においては、文化振興の新たなステージを目指すこととなる。（別添資料3）

論点1 第5期計画の基本目標において踏まえるべき文化の意義と果たす役割

【検討の視点】基本目標に掲げるべき理念や目的を定めるための審議をお願いします。

- 例) ・社会情勢の変化に伴い見えてきた文化振興の新たな意義や方向性
- ・文化が地域社会において果たす役割

論点2 第5期計画で掲げる重点施策の方向性と具体的な内容

【検討の視点】重点施策に記載すべき内容について審議をお願いします。

- 例) ・課題認識や方向性
- ・施策の具体的な内容への提言

●第4期ふじのくに文化振興基本計画

【計画期間：H30～R3（4年間）】

基本目標	感性豊かな地域社会の形成 <ふじのくに芸術回廊の実現> ～文化を享受し、創造し、支える人を育てるとともに、文化活動を行う環境や仕組みを整えます～	
重点施策	豊かな感性を育む文化振興	① 子どもが文化と出会う機会の充実 ② 多様な価値観を表現し、尊重する環境づくり
	新たな価値を生み出す文化振興	③ 創造活動の実現と環境づくり ④ 文化資源の発掘と創造活動による地域の魅力向上
		⑤ 地域・社会の様々な課題への文化力の応用 ー文化「が」ささえるー
	人・社会・世代をつなぐ体制づくり	⑥ 文化を支援する機能の強化 ー文化「を」ささえるー

●第5期ふじのくに文化振興基本計画（案）

【計画期間：R4～R7（4年間）】

論点1

基本目標 文化振興の新たなステージへ（仮）
～いつでも、どこでも、だれもが参加し、楽しめる“ふじのくに芸術回廊”の確立～

論点2

- 重点施策
- I 世界で輝く静岡ブランドの創造
 - II 社会の多様な担い手による創造的な活動の促進
 - III 文化活動の支援と人材育成の促進
 - IV これからの文化振興のプラットフォームの創造
 - V ウィズコロナ時代を踏まえた持続可能な文化活動の実現

